

町村に伺いました

訪問の様子とトピックスを随時お伝えしていきます。
更新をご期待ください。

-町村の皆さんからお話を伺いました- No.8

足寄町役場



R2.6.11
学校や関係機関等と連携を取りながら、幼少期の福祉の関わりから、学校教育を経由して成人に至るまでの経過を、途切れること無くサポートする体制がされていることや、町独自に取り組んでいる発達支援体制についてもお聞きしました。また、多様な困り感を抱えていらっしゃる方々のニーズを庁舎内のネットワークを活用して把握し、気軽に相談出来る様な窓口を設置する考えを持っていたり、町内での日中活動や生活環境を整えられる様に、新たな社会資源開発の構想も検討され始めているというお話を伺うことが出来ました。

福祉課 保健福祉室 福祉担当 主査の大風さん(左)、
福祉課 保健福祉室の増元さん(中)、福祉課 あしよろ
子どもセンター主査の細谷さん(右)に対応いただきました



あしよろ地域共同作業所 ふれあいホーム



R2.6.11
地域で唯一の就労継続支援 B 型事業所として、多様な対象者を受け入れているようです。3～4割程度の方は、「就労移行支援」や「生活介護」等の他の事業形態があれば、より効果的なサポートが出来るという考えを伺うことが出来ました。役場や関係機関と今後の事業体制について相談をしている様です。職員の人材育成が必要という情報の中で、遠隔地にいても学びを持つことが可能なオンライン学習の様な仕組みについての話題にもなりました。いくつかの町村で、同様の話題が出てきたことから、今後検討させて頂こうと考えております。

管理者・サービス管理責任者の仁木さん
に対応いただきました



上士幌町役場



R2.6.11
個別支援の対応について、また、支援対象となりうる方々の実態把握について、きめ細やかな情報収集が出来ている印象を受けました。ご本人の状況に寄り添いながら、一軒一軒丁寧に訪問し、可能な限り状況を伺う方法を取っているそうです。当センターでも企業営業等で「足で稼ぐ」方法を取ることもありますが、エネルギーを使います。今回ご対応頂いた北澤さんは、お忙しい中、労力を惜しまず個別訪問をしている様を淡々とした口調で語っておられました。なかなか出来ないことをサラリと行っている熱意に感銘を受けました。

保健福祉課 児童・障がい福祉担当
主査の北澤さんに対応いただきました



今回は、東北十勝から上士幌へ伺う行程でした。

市町村行政まわりも終盤に差し掛かり、地域によって様々な取り組みが行われている実態を伺うことが出来ております。「福祉」の窓口で聞き取りを行う中で、①窓口自らが中心となって個別対応を行い、関係機関連携を意識している取り組み、②保健師等の専門職種と役割分担をする中で、窓口対応や事務対応に力を入れている取り組みといった、大きく分けると2パターンに分類されていくような感想を持ちました。それらの体制に至るまでには、地域ごとの取り組みの歴史や文化、マンパワーの体制等、様々な要素があるのではと推測しますが、それらの取り組みを行政機関同士で共有し、打ち合わせをする中で理解を深めたいといった希望や提案が、複数の行政機関から出てきました。当センターは今回「就労支援」に特化した聞き取りを行わせて頂いておりますが、すべての町村で「町づくり・町おこし・多様性」といったキーワードが次々と話され、情報交換の機会を欲している様な熱意を感じる場も多く、我々も身の引き締まる思いで訪問をさせていただいております。

今後、訪問状況のまとめをお伝えする中で、次の展開についてのご相談もさせていただきたいと構想を練っております。その際は是非お力添えを頂ければと思っています。